

# 日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社  
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4  
編集 電話 03-3820-3500  
FAX 03-3820-3519  
総務 電話 03-3820-3511  
FAX 03-3820-3518  
https://jfpj.jp/  
e-mail info@mokuzai.com  
購読料 1ヵ月 6,200円  
©日刊木材新聞社 2023  
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

納得 わくわく  
木材建材ワイワリー  
Japan Lumber Reports  
電子版

JAS認定工場  
国産材杉・枕木・ポツポ  
佐々木木材防腐株式会社  
群馬県前橋市下大島町57の2  
TEL 027(266)1324

主な記事  
▽3面 首都圏商況 実需不足で様子見  
▽4～5面 国産材原木商況 杉の平均  
が下落  
▽6～7面 特集 第8回木青連全国会  
知大会

## 環境配慮型建築材料登録事業を9月開始

### 日本住宅・木材技術センター

#### 六価クロム不使用製品など対象

環境配慮型建築材料「室内環境を改善する登録事業は、各メーカーが取り組む環境配慮型の製品に対し、住宅センターが第三者の立場で評価することで、信頼性の向上、需要活性の一助となる。登録製品にはロゴマークが貼付でき、環境配慮型という面で差別化して訴求が可能。対象製品やその取り扱い企業のステータスを高めることにつながる。

同事業の登録対象となるのは、「環境負荷物質を使わない建築材料」「室内環境を改善するための建築材料」その他、環境配慮型として認められる建築材料だ。いずれも、同センターが定める「環境配慮型建築材料登録技術基準」の生産・供給体制が整備されていることが条件となる。

同センターの認定金物やAQ認証製品も、同事業の登録対象となり得る。例えば、環境負荷物質を使わない建築材料として、環境汚染物質である六価クロムを使わない建築材料などが想定される。

その他の環境配慮型として認められる建築材料は、人工乾燥など製造過程でのCO<sub>2</sub>排出や化石燃料の消費抑制に資する建築材料などが想定される。

#### アラウコ山林土砂崩れ、搬送路寸断

##### 製材の生産体制に影響か

6月24、25日にチリ都市コンステイテューの首都サンティアゴ郊外から南に約600キロのコンセプションまでの広範囲で集中豪雨に見舞われた。両都市の間間に位置する海側の林産企業であるアラウコのビナレス製材工場は被害を免れたものの、搬送路が寸断され、製材の生産体制に影響が懸念されている。

##### チリで大規模洪水

6月24、25日にチリ都市コンステイテューの首都サンティアゴ郊外から南に約600キロのコンセプションまでの広範囲で集中豪雨に見舞われた。両都市の間間に位置する海側の林産企業であるアラウコのビナレス製材工場は被害を免れたものの、搬送路が寸断され、製材の生産体制に影響が懸念されている。

#### 滋賀工場稼働でプレカット倍増、パネル3倍へ

### 2023年4月期は増収増益

#### ナカザワ建販

ナカザワ建販(大阪府和泉市、中澤秀紀社長)の2023年4月期の決算は、売上高31.6億2600万円(前期比5.9%増)、経常利益11億2000万円(同1.3%増)で増収増益となった。

当期のプレカット事業は28%増、滋賀新工場稼働による売上高比率は「フル稼働すると売上高

400億円、プレカット比率が46%まで高まるものと想定している。工場は24年10月稼働を目指しており、プレカット加工は現在の2倍となる年間24万坪を見込んでいる。震災

リスクへの対応や省人化対策としてプレカットの生産の比重を和歌山から移し、滋賀を増やしていくこととしている。非住宅対応では和歌山工場への特設加工機の導入も計画中で、近く決定する見込みだ。

プレカットによる構造躯体に加え、パネル生産も、和歌山工場の増設と滋賀工場の建設で現在の年間21万6000平方メートル(1200棟分)を64万8000平方メートル(3600棟)へ拡大。軸組からパネルを含めた躯体、さらにはサッシ、断熱材、外壁、屋根などへと工場生産を拡大している。パネル化については目下は大工不足による施工の問題というより「トリプルガラスサッシなどサッシの重量化が進み、その対策としてパネル化を検討するところが増えている」(同社)。

請負事業では新築戸建て偏重から非住宅木造(アパート含む)の請負を拡充する。循環型事業への新規投資として大阪、兵庫県の一部地域での解体とそれに伴うアスベスト調査なども進めたい考えだ。

ナカザワグループ全体では、売上高37.6億1900万円(同2

造作用集成材も  
**JAS製品**で  
TSC株式会社 ティ・エス・シー  
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53  
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349  
ホームページ http://www.syusei-tsc.com

の、社有林で土砂崩れが起り、丸太の搬出に使用している山道や周辺の道路40カ所以上が寸断されたことから今後の生産体制に影響が懸念されている。

8月7日には、同事業のオンライン説明会を開催予定で、事業趣旨、登録要件や登録のプロセスなどを解説する。

・5%増)、経常利益10億5000万円(同28.7%減)となった。

チリでは2月、火災が発生したの影響によるプレカットの伐採月中には完了するが立つなど、収束して産地は対応できているところだ。

樹皮・木片・ペレット・ブリケット等  
**バイオマス蒸気ボイラー**  
大幅コストダウン  
大気テクノ株式会社  
〒731-0135 広島市安佐南区長束6-10-1  
Tel (082)850-1616 Fax (082)850-2277